

■祝!市制60周年・・・稲沢市平成30年度予算の

新年度一般会計は461億7千万円で対前年度30億2千万円の増、107.0%の伸びです。歳入の主なものとは市税211.4億円、地方交付税31.6億円、国庫支出金56.4億円、県支出金28.9億円、基金繰入26.9億円、大幅増の市債40.7億円等です。特別会計、企業会計合わせた総額は1.3%増の907億余円です。以下は新規施策等の超抜粋です。

●新分庁舎等整備・・・2.59億円 新規 総務部

災害対策拠点、福祉事務所及び社会福祉協議会の施設を本庁舎敷地内へ分庁舎整備(平成32年度完成予定)、関連で敷地外駐車場整備○×△

●小規模保育施設整備・・・1.77億円 福祉保健部

0～2歳児受入のため小規模保育事業の民間事業者を公募の他、第2子授業料・保育料無償化の拡大、六輪児童クラブ移転、子育て支援アプリ導入等

●健康診査(節目歯科)委託・・・0.06億円 福祉保健部

20代からの歯周病の罹患率が上昇、40代前半の8割が歯肉炎・歯周炎の状況から40歳以上の0、5検診に加え20、25、30、35歳に対象拡大

●さわやか隊設立10周年記念・・・0.01億円 新規 経済環境部

11月23日に市制60周年も兼ねて環境美化活動の取組の記念事業



●剪定枝処理対策費補助・・・0.11

億円 新規 経済環境部 剪定

処理手数料、破碎機購入補助

●平和・法立東井筋改修・・・0.15

億円 新規 経済環境部

昭和37・38年に建設された用排水路を老朽化や流量の増加から改修

●デジタルサイネージ(電子看板)設置・・・0.05億円 新規 経済環境部

名鉄国府宮駅に電子看板を設置し市政情報等を提供

●美濃路稲葉宿本陣跡ひろば整備・・・1.66億円 新規 同上

元尾張農林水産事務所農業改良普及課稲沢駐在室等の跡地(県有財産1,974㎡)を購入し歴史公園を整備

●雨水貯留施設設置・・・0.18億円 建設部

稲沢公園バラ園西側道路内に雨水貯留施設の実施設計

●愛知県消防操法大会開催地運営・・・0.08億円 新規 消防本部



稲沢消防団第5分団(千代田地区)が出場する県の操法大会(7月28日祖父江の森)に共催、そのほか第4分団(明治地区)の詰所移転整備、11分団を4方面隊に編成強化

●セーフティ・プラスワン・・・0.3億円 教育委員会

低学年の児童を留め置き高学年との一斉下校を全小学校へ拡大

●小学校エアコン整備・・・0.13億円 新規 教育委員会

小学校にエアコン設置へ基本設計、稲沢東・西・北、大里西・東、下津、大塚、高御堂、小正の9校(小学校は稲14、祖6、平3で3年計画○×△)

●祖父江生涯学習施設整備・・・0.15億円 新規 教育委員会

旧祖父江支所跡地に施設整備の基本設計、他に祖父江中プール・大里西公民館移転整備、稲沢公民館調理室増築等の基本設計ラッシュ○×△

STEP21



●市制60周年記念事業から

昭和30年に中島郡の稲沢町、明治・千代田・大里村が合併し新・稲沢町が誕生、昭和33年11月1日に市制に移行し60年周年を迎えます。鈴木も還暦です。

【NHK公開番組招聘事業】

上手な人は上手にそれなりの人は面白く紅白を凌ぐ?国民的番組NHKのとど自慢5月6日公開収録・・・市長公室新規百万円



【民放公開番組招聘事業】

お家の中を探して稲沢の埋もれているお宝を用意しておきましょう?10月7日公開収録・・・市長公室新規2百万円

【市民ふれあいコンサート】

セントラル愛知交響楽団によるコンサートを8月18日開催・・・市長公室新規百万円



【観光交流サミット負担金】

観光による地域の振興や活性化を目指し第10回愛知県観光交流サミットを11月29日に開催・・・経済環境部新規2百万円

【荻須記念美術館特別展】

市制60周年・開館35周年記念事業として「山形美術館の名品と荻須が見たパリ画壇」を開催・・・教育委員会11百万円



【シティーマラソン大会】

市制60周年・大会30回記念事業としてゲストランナーを招聘・・・教育委員会百万円

愛知県議会報告 J-PRESS

新政あいち県議団

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

配慮を必要としている事を知らせる

ヘルプマークです

平成30年度 スタート!

愛知県議会2月定例会は知事提出の新年度の一般会計、新たな国民健康保険事業約5,665億円を含む特別会計及び企業会計の予算関係、愛知県文化芸術振興条例の制定(県民生活部も県民文化部に改称)、ダイコー問題から廃棄物の適正な処理の促進に関する条例の一部改正、民泊の関係から旅館業法施行条例の一部改正など条例関係、森岡副知事の再任、加藤副知事の新任の人事案件など全ての議案を可決・同意し3月26日に閉会しました。

新年度の一般会計当初予算は2兆4,939億6,200万円、対前年度約270億円、1.1%の減ですが、県費負担教職員給与の名古屋市移譲による影響(約475億円)を除いた実質は約205億円、0.8%の増となります。前年度に大幅な減収となった法人二税は565億円の増を見込みますが、外形標準課税の拡大など企業収益の回復が税収増に反映されにくい状況です。

総務県民委員会では、地方再犯防止推進計画について及び公契約条例の実施状況についてなど県の取組を質しました。

新年度は2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2026年のアジア競技大会、2027年のリニア開業といった節目の年をターゲットに、動き出した未来へつづくプロジェクトであるジブリパーク構想、MICEを核とした国際観光都市など愛知の夢を実現してまいります。



新政あいち県議団発足



地域政策集団として新政あいちを立ち上げました。政治資金規正法上はその他の政治団体で党とは異なります。記者会見(写真左は中日新聞より)では地域政党の質問を頂きましたが、地域住民の安心・安全、福祉の向上を図るために、少子高齢・人口減少・長寿社会、労働、防災、環境など地方自治体を取り巻く諸課題に取組み研鑽を積み重ねいずればローカルパティイと呼ばれるように思います。地方自治法が日本国憲法と同じく施行されてから七〇年の時が過ぎましたが、真の地方自治、住民自治を実現するために果敢に活動してまいります。県議団も名称を新政あいち県議団に変更し、新たに二人の仲間を加え再スタートしました。

新総合計画のスタートとなる稲沢市の一般会計は過去二番目と膨張、建物の設計が目立ちます。施設の統廃合・複合化が必須な今、将来的な本庁舎の建替えスペースも考慮した検討が必要です。未来へつづくまちづくりへ生懸命働きます。

愛知県議会議員 鈴木純 (稲沢市選出)

■愛知の夢を実現する予算・・・新規事業等のポイント

一般会計当初予算の歳入では**県税が1兆1,717億円**(対前年度40億円増、全体の47.0%)、歳入を補うために今回も減債基金880億円や財調基金403億円の取崩を計上しています。歳出では人件費・扶助費・公債費の**義務的経費が90億円増の1兆2,567億円、全体の50.4%**、国際展示場や新環境センターの建設、芸文センターの改修などの**投資的経費は486億円増の3,036億円、12.2%**、名古屋市交付金の皆減などの**その他経費は846億円減の9,335億円、37.4%**です。重点施策など以下の通りです。(超抜粋)

総務県民委員会関係

●テキサス州SXSW学生派遣・・・0.03億円 新規 政策企画局

高度なグローバル人材を育成するため世界最大級の複合イベントSXSW(サウス・バイ・サウスウエスト)に派遣し研究成果を発表

●愛知県・江蘇省友好書道展・・・0.05億円 県民文化部

日中平和友好条約締結40周年の本年、昨年開催した愛知県と友好提携先の江蘇省との書道展を6月19～24日に電気文化会館で開催

●女性の活躍促進・・・0.38億円 一部新規 県民文化部

女性の活躍プロモーション事業、女性の活躍企業魅力発信事業など女性の就労の継続(定着)と女性の活躍の拡大

●高齢者の事故防止等・・・0.4億円 県民文化部

交通事故死者数の減少とワースト1位の返上へ事故死者数の約6割を占める高齢者及び死亡事故原因の約8割を占めるドライバーの啓発活動

●被災世帯の生活再建支援・・・0.2億円 新規 防災局

住宅全壊被害が10世帯未満など支援法の対象とならない被災世帯への市町村との協調補助(支援金最大300万円の1/2)

振興環境委員会関係

●MICEを核とした国際観光都市へ＋クルーズ船係留施設整備の検討・・・0.38億円 新規 振興部

国際的なイベント(MICE)を核とした国際観光都市を目指している中部国際空港島において具体化に向けた検討及び常滑空港空港地区のクルーズ船係留施設の整備を検討

●愛知県デスティネーションキャンペーン・・・0.82億円 振興部

JRグループ6社と愛知県等で大型キャンペーンの集中期間(10月～12月)のオープニングイベントの実施等

●世界サーフィン選手権・・・0.05億円 新規 振興部

9月に田原市で**2018ISAワールドサーフィンゲームス**

●第26回地域伝統芸能全国大会・・・0.33億円 新規 振興部

11月3日・4日に地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会あいち・なごや<日本の祭りinあいち・なごや2018>開催

●住宅用地球温暖化対策設備導入促進・・・0.08億円 環境部

住宅のスマートハウス化促進へ設備単体への補助に加え、太陽光発電、HEMS(ヘムス:家庭用エネルギー管理システム)及び蓄電池等を一体的に導入する市町村との協調補助を追加

●環境首都あいちを支える人づくり・・・0.08億円 新規 環境部

中高年・シニア世代を環境学習などの講師として養成し講座を実施

健康福祉委員会関係

●子どもが輝く未来に向けた取組・・・1.73億円 一部新規 健康福祉部

子ども食堂支援など健やかな育成環境、教育の機会均等及び支援体制の充実など子どもが輝く未来に向けた取組の推進

【平成30年度当初予算規模】		伸率(%)
一般会計	2兆4,939億余円	98.9
特別会計	1兆3,317億余円	173.8
企業会計	1,685億余円	85.4
合 計	3兆9,943億余円	114.6



●ゼロメートル地帯における円滑な救出救助活動に必要な広域的な防災拠点を愛西市に整備【6億円】



●あいちオレンジタウン構想

・・・1.55億円 新規 健康福祉部
昨年9月策定の構想に基づき企業サポーターの養成や認知症予防プログラム開発など保健・医療・福祉の専門機関が集積する「あいち健康の森」とその周辺地域で認知症対策を推進



●ヘルプマーク普及促進事業

・・・0.02億円 新規 健康福祉部
義足や内部障害など外見からは分かりにくい方が配慮を必要としている事を知らせる**ヘルプマーク**を9月のスペシャルオリンピックス2018愛知に向け7月から市町村と連携し導入



●企業等の「健康経営」を推進・・・0.08億円 新規 健康福祉部

医療保険者等と健康づくりに関する包括協定を締結し従業員の健康保持・増進を推進する「健康経営」に取組む企業を表彰など支援

●フレジジョン・メディシ(精密医療)の推進・・・1.25億円 新規 病院事業庁

ゲノム医療の実用化に向け個別医療を推進している中央病院に将来がんになるリスクを診断し予防への対応を行う「リスク評価センター」を新設

産業労働委員会関係

●次世代産業の振興・・・7億円 産業労働部

航空宇宙産業海外販路開拓推進コンソーシアム(仮称)による海外取引の拡大支援など航空宇宙産業、次世代自動車産業、ロボット産業、水素エネルギー社会実現など次世代産業の育成・振興を推進

●中小・小規模企業支援・・・1,841億円 一部新規 産業労働部

制度融資の再生・事業承継支援資金の金利の0.2%引下げ、繊維など地域産業資源を活用した新事業展開を助成等

●商店街の活力を強力に推進・・・2.6億円 産業労働部

げんき商店街推進事業や地域商業活動活性化事業(補助下限額を50万円→30万円に引下など小規模での活用促進)等により商店街の活性化を推進

●人手不足対策を強力に推進・・・2.38億円 一部新規 産業労働部

若年者雇用対策、障害者雇用対策、UIJターン促進、高齢者・外国人雇用など中小企業等の人手不足対策推進

●働き方改革・・・0.32億円 一部新規 同上

働き方改革推進キャラバン事業など働き方改革に取り組む企業支援

農林水産委員会

●第70回全国植樹祭

・・・1.84億円 農林水産部 2019年春季(5月から6月)に森林公園(尾張旭市・名古屋市)等で開催する第70回全国植樹祭の開催に向けて実施計画の策定や式典会場等の整備

●農作物産地の戦略的な取組を推進・・・12.84億円 一部新規 農林水産部

あいち型植物工場高度化推進、ドローンなど次世代技術活用田農業強化、農業支援外国人受け入れなどの取組を推進

建設委員会関係

●ジブリパーク(仮称)構想の推進・・・0.3億円 新規 建設部

愛・地球博記念公園にジブリパークを2020年代初頭に開業、基本デザインを基にスタジオジブリと協議を進めると共に自然環境調査等実施

文教委員会関係

●杉原千畝氏顕彰施設整備・・・0.8億円 教育委員会

本県で少年期を過ごし人道的立場を貫いた杉原氏を顕彰する施設を県立瑞陵高校の校地に設置、10月完成記念式典予定

●教員の多忙化解消・・・0.61億円 教育委員会他

プランに基づき負担軽減を図り質の高い教育への環境整備

警察委員会関係

●PFIによる運転試験場の整備・・・10.26億円 警察本部

PFI事業による平針の運転免許試験場・運転者講習センターの実施設計及び建設工事、現地建替えのため工事中ご不便をお掛けしますが平成32年4月新庁舎供用開始予定です。

フレジジョン・メディシ(精密医療):遺伝子、環境及びライフスタイルに関する個人ごとの違いを考慮し、最適な予防・診断・治療を分析・選択し提供すること

●愛知から・・・2027年リニア開業へ

2019年

全国植樹祭

技能五輪全国大会

ラグビーワールドカップ

トリエンナーレ(3年毎)

2020年

(東京リビック・パナリビック)

ワールドロボットサミット

技能五輪全国大会・全国アビリンピック

FIFAフットサルワールドカップ2020(未)

2023年

技能五輪国際大会(未)

2026年

●第20回アジア競技

大会【今年度愛知・名古屋合同準備会負担金等1.73億円】

★ジブリパーク★OPEN?

●新体育館(収容人員約1万人、名城公園北園)について大相撲名古屋場所にふさわしい施設などのコンセプトを踏まえ基本計画を策定【新規1.02億円】

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

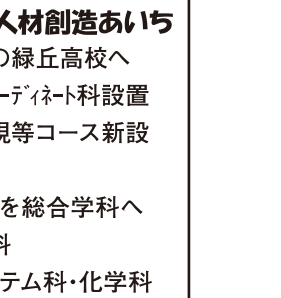
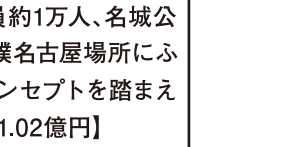
名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園

名城公園北園



平針新施設イメージ図